

令和7年度 第1回川崎市市民健康づくり運動推進懇談会 摘録

1 日時

令和7年7月30日(水) 13時30分～15時00分

2 場所

健康福祉局会議室1

3 出欠(◎印: オンライン参加)

(1) 出席委員

岡野 敏明 委員◎	高柴 重幸 委員	伊藤 啓 委員	堀田 彰恵 委員
北村 恵子 委員	須賀 万智 委員◎	志田 達郎 委員◎	小川 町子 委員
村山 和枝 委員	清水 豊 委員		

(2) 欠席委員

白井 基雄 委員 長沼 由紀子 委員

(3) 事務局出席

健康福祉局長	石渡 一城
健康福祉局保健医療政策部 担当理事〔保健政策・保健所長〕	林 露子
川崎市立看護大学 副学長	荒木田 美香子◎
健康福祉局保健医療政策部 担当部長〔歯科保健政策〕	半澤 元章
市民文化局市民スポーツ室 担当課長	荻田 恵子
教育委員会事務局学校教育部健康教育課 指導主事	安田 幸
健康福祉局保健医療政策部保健医療政策課 担当係長	田口 亜紀子
健康福祉局保健医療政策部 担当課長	阪田 敬子
健康福祉局保健医療政策部健康増進課長	大西 哲史
健康福祉局保健医療政策部健康増進課 課長補佐	國米 佑宇
健康福祉局保健医療政策部健康増進課	前田 恵里
健康福祉局保健医療政策部健康増進課	石坂 有理佳
健康福祉局保健医療政策部健康増進課	谷 草太
健康福祉局保健医療政策部健康増進課	高岸 悠太郎

(4) 事務局欠席

こども未来局児童家庭支援・虐待対策室 担当課長〔母子保健〕 村山 智子

4 議事

- (1) 「かわさき健康づくり・食育プラン」の概要と今後の方向性について（報告事項）
- (2) 働き盛り世代における健康づくり活動の推進について
- (3) 「かわさき健康づくり・食育プラン」の今年度の取組について

5 公開又は非公開の別

公開

6 傍聴人の数

0人

7 配布資料

資料1	川崎市市民健康づくり運動推進懇談会運営要綱
資料2	川崎市健康づくり関連会議体系図
資料3	かわさき健康づくり・食育プラン概要
資料4	かわさき健康づくり・食育プランの取組スケジュール
資料5-1	働き盛り世代における健康づくりの取組状況
資料5-2	各団体における健康づくりの取組と健康増進計画の基本施策
資料6	「かわさき健康づくり・食育プラン」令和7年度の取組について
参考資料1	かわさき健康づくり・食育プラン 概要版
参考資料2	アクティブガイド リーフレット
参考資料3	見直そう！健康習慣 リーフレット
参考資料4	令和6年度川崎市健康増進計画推進に係る取組結果のまとめ

8 川崎市市民健康づくり運動推進懇談会について【資料1、資料2】

（事務局）資料1に基づき本会議の位置づけ、資料2に基づき健康づくり関連会議の体系について説明。

9 議事

(1) 「かわさき健康づくり・食育プラン」の概要と今後の方向性について（報告事項）【資料3・4】

（事務局）資料3に基づき、計画の概要について説明。

資料4に基づき、計画のスケジュールについて説明。

意見特になし

(2) 働き盛り世代における健康づくり活動の推進について【資料5-1・5-2】

（岡野委員）健康づくりセンターは川崎の端だが、健康体操やヨガなどの体育教室の開催など、できる限りのことはしている。介護予防の講演会の開催、「ほほえみがえし」などの市民広報誌の発行を行っている。また、公開講座ではパラリンピックのメダリストを招き、体力作りや精神面での講座を行った。

魅力ある健診にしていかなければならないと思っており、継続的な検診を受けられるようなオプ

ションを提案していかなければならないと考えている。連携可能な取り組みについて、チラシ配布等の広報についてぜひ御協力いただきたい。

また、講師の派遣については協力できる。

(高柴委員) 歯科検診でも受診率は上げていきたいと考えており、2年前から窓口の負担金 900 円を歯科医師会負担とすることでなくしている。特殊健診の認知率も上げていきたい。口腔がん検診も実施しかなりの希望者がいる。連携について、町内会でのお口の啓発活動に歯科医師を派遣したり、高齢者の食事会やフロンターレイベントでの口腔啓発活動を行っている。

(伊藤委員) 薬剤師会で所持している骨量、血管年齢、認知機能の測定機器を薬局に貸し出し、薬局で健康測定を行ってもらえるようにしている。10 月のイベントでも普及啓発を行う予定。昨年度は落語家を招いて公開講座を行った。かわさき TEKTEK について、薬局にくる方にも、より活用したらいののではという話はしている。連携としては、お口の健康フェアに参加したり、薬剤師会のイベントに歯科医師会を招いたりなどしている。イベントはアゼリアでやるので、参加者は川崎区、幸区の方が多い。川崎市内の広いエリアから参加いただけるよう広報の協力をいただきたい。

(堀田委員) 「医療介護福祉の現場で働く人のウェルビーイング」という研修では、カードゲームを使用して、自分や他の人の考え方や価値観に改めて触れる時間にする。看護師の自主活動（防災の普及啓発など）を支援する取組を一昨年からはじめており、糖尿病などの病気の予防も働きかけていきたい。連携できることがあればお声がけいただければ。

(北村委員) 世代に焦点はあてていないが、働き盛り世代にはアプローチしていきたい。高津区の健康づくりの集い、健康福祉まつりなどに参加して啓発してきた。連携としては、社会福祉協議会からお話をいただき、障害者の料理教室を開催したり、お口の健康フェアに参加し啓発を図っているところである。

(志田委員) かわさき TEKTEK を活用した健康増進の取組を実施している。

PTA の委員や役員がインストラクターとして家庭教育学級を実施している。

(小川委員) 料理教室の開催が主。幼少時から減塩、野菜を食べる、おいしく楽しくを伝える。家庭には食事の時だけは楽しくと伝えている。男性料理教室では社会参加、一人でも料理できるようにとすることを目的に実施している。働き世代については若い時に食べたものが数十年後に影響する、という話をしているが、多忙のため料理教室を開催したとしても人が集まりにくい現状。高齢世代にはフレイル予防としてシニアカフェなどを開催し、おしゃべりの場とボランティアの提供をしている。イベントでは舌で確かめてもらったり野菜を測ったりするなどしている。ベジチェックの後に話をするとうよく聞いてもらえるので、このような機会を設けるのが大事。時短料理や野菜が簡単にとれるレシピなども考えている。料理講習会など依頼があれば開催できる。

(村山委員) 健康づくりサポーターは「家から連れ出す」担い手であると自負している。健康サポーターは高齢化かつ担い手不足で、若手養成については区に要望している。各イベントのお手伝いに行きたいと思っているのでぜひお声がけいただきたい。足腰らくらく体操や、ほほえみ元気体操などの健康のための体操がある。

(清水委員) 働いている方の健康管理のお手伝いを業務としています。健康診断結果を医師会産業医の方に依頼して診断結果に対する意見聴取を行って頂いています。当センターの担当地区は中原区・高津区・宮前区・多摩区・麻生区の5地区となっています。令和6年度は211の事業場にて実施。労働基準監督署では健康管理と安全管理推進の為、意見聴取を行っていない事業場に立ち入りをを行い【是正勧告を発令】しています。当センターでは勧告を受けた事業場に対して、意見聴取の受審方法の案内並びに産業医殿とのスケジュール調整を行っています。神奈川産業保健総合支援センターより、化学物質管理やメンタルヘルス、保健指導に関する相談などに関して専門の講師を無償で派遣することが可能なので御検討いただければ。

(事務局) (教育委員会安田指導主事) 小学校ではきらきらタイムを行い、仲間づくりや身体を動かす楽しさを知ってもらい、運動の習慣化を図っている。アルコールやたばこ、薬物乱用についての学習を小学校、中学校、高校にて実施している。連携としては、学校歯科保健協議会にて歯科医師会が御依頼くださった先生に講演いただき、歯科医や養護教諭等で学びを深めた。

【質疑応答】

(岡野委員) 行政の健診を担っているが、どこまで積極的に進めていいのかが気になっている。特定健診の受診率は25%で低いが、増えると行政負担がかかってくる。

(事務局) 健康寿命の引き上げのためにも健康改善を進めていただければと思う。

(岡野委員) 早期発見早期治療で医療費全体を抑制するのが1つの目的ではあると思っている。魅力的な検診のため、脳梗塞、心臓に対しての予防的なものとして心電図の検査を積極的に取り入れるようアナウンスしている。このようなアイデアは積極的に取り入れてよいのか。

(事務局) 受診率向上のため、魅力の向上につきましては皆様の御協力をいただきながら進めていきたい。

(伊藤委員) 清水委員に伺いたい。化学物質管理とはなにか。

(清水委員) 特殊健康診断の中でいろいろな物質を使っている。例えば放射線や有機溶剤など。それを管理する。本日資料持参していない。後日資料を共有する。

(堀田委員) 他団体との連携について仕組みがあるのか。

(事務局) 後ほど事務局から説明する。

(石渡局長) TEKTEK についての話があったので補足したい。TEKTEK は参加者の7割の方が働き盛り世代。寄付対象を中学校に拡大したことにより少し上の世代も視野に入れている。今年度中には7万人に到達するのではと見込んでいる。TEKTEK 参加者に関して、1日の歩数の平均は国の平均より714歩多いことから、アプリを入れたことにより意識づけが変わったのかもしれない。働き盛り世代にも到達している。ぜひ今後もアプリを御紹介いただきたい。

【事務局から補足事項】

チラシの普及啓発について、広報場所のマッチングを構築していきたいと考えている。昨年度確認させていただいたものからの変更や新規窓口などないかを確認し、取りまとめたら共有する。資料5-2参照。

連携のきっかけづくりにしていただければ。

(3) 「かわさき健康づくり・食育プラン」の今年度の取組について【資料6】

(事 務 局) 資料6に基づき令和7年度実施予定の取組を説明。

【質疑応答】

(伊藤委員) 健康づくりに関する動画の作成とあるが、動画を薬局で流すことができると思う。完成したら連絡をいただきたい。

(事 務 局) 完成したら御連絡する。スクリーンセーバーも作成予定なのでそちらもぜひお願いしたい。

4 その他

(事 務 局) 次回は年明け2月頃を予定している。開催が近づいたらまた日程調整をさせていただきたい。

以上